

第 12 回 「考えをまとめる文章の組み立て方(つづき)」

シラバスでは今回のテーマは「(12) 悪文を書かないために」であるが、この内容の一部は第 10 回「伝わる文章の組み立て方」で扱ったので、内容を変更する。まず、先週の「考えをまとめる文章の組み立て方」の続きにグループワークとしてとりくみ、続いて、「相手にものごとをわからせる」ための指示の方法として、道順を説明する方法をグループワークで考えてもらう。

1 グループワークその 1 「結局、サマータイムをやるのかやらないのか」

先週のグループワークでは「あなた(たち)ならサマータイムを導入するか/導入しないか」についての結論をグループごとに仮決定した。導入すると結論を下したグループもあったし、導入しないと結論を下したグループもあった。結論を下した根拠も各グループから 2 件ずつ述べてもらった。重複する内容もあったが、合計 10 件の根拠が示された。

この内容に関して 1 週間の調査を行い、自分(たち)の結論を支持する情報と、支持しない情報とを集めてきたので、もういちど先週の結論で良いかどうかを考えよう。これは正解の無い問いである。しかし「やる/やらない」のどちらかを決定しなければならない場面もある。その練習である。

2 グループワークその 2 「大学までの道のりを言葉だけで説明してみよう」

あなたの親戚が、あなたの通う北里大学を一度みてみたいと言っている。そこで試験期間最終日、最後の試験科目が終わってから、大学で待ち合わせることにした。最寄り駅からの道順を言葉だけで説明してみよう。どのように説明したら正しく到着してもらえることができるだろうか。必要情報は以下のとおり。

待ち合わせ時刻→14 時

待ち合わせ場所→L1 号館の玄関

最寄り駅→小田急線の相模大野駅

最寄り駅からの交通手段→神奈中バス

相模大野のバス乗り場→北口 1 番

乗車時間→25 分間

例 1 小田急線相模大野駅北口 1 番バス乗り場から神奈中バスに乗って約 25 分の「北里大学」で降りて下さい。正門からの道を 10 分ほど奥に進み、ベンチのある中庭

が右手に見えたら、その手前を右折です。直進して左手に見える白い7階建てビルがL1号館です。その玄関で14時に待っています。

最寄り駅からの行動を時間順に記した説明である。このパターンの説明はよくみかける。必要な情報は全て入っているので、この順番に行動すれば間違えることなく待ちあわせできるだろう。

例2 キャンパスの奥にあるL1号館という建物の玄関で14時に待っています。大学の最寄り駅は小田急線の相模大野です。駅からバスで25分、そこからL1号館まで歩いて10分ほどかかります。相模大野で改札を出たら、北口のバス乗り場に行き、1番乗り場に来るバスに乗って下さい。降りるバス停は「北里大学」です。正門から入って広い道をまっすぐ進むと、右前方にベンチのある中庭が見えます。その手前を右に曲がってまっすぐ進むと、左手に白い7階建てのビルが現れます。そこがL1号館です。

重要な情報を先に伝えてしまう説明方法である。「L1号館玄関・14時」という結論だけ覚えておけば、とりあえずキャンパスに来て、誰かに道をきくなり何なりして、目的地にたどり着くことができるだろう。

簡潔な記載という点では例1が良いが、この例1は全ての情報が揃わないとL1の玄関に来ることができないしくみになっている。

これに対して例2では「待ち合わせ場所と待ち合わせ時刻」を先に伝えてしまい、続いて所要時間を伝え、最後に具体的な行動を説明している。文字数は増えるが、相手のアタマの中は整理されることだろう。

2.3 先に全体像を伝え、続いてくわしい情報を伝える

道順の説明に限らず、あなたには、何かの手順を説明する場面がこれから先に必ずやってくる。相手が欲しがっている情報は何なのかを考えながら、相手が正しく行動できるような手順を簡潔な言葉で説明する能力を持つ人材が、この世の中に貢献できる人材である。あなたはそういう人間にならなければならない。

□

改訂 2011-07-08